## 〔長久手町業務評価票:平成18年度業務〕

課係NO・業務NO	-	•	総合計画	節	項	
担当課・係名	社会教育 課	社会教育	係【問合t	・質問等の	先(内線番号)	512番】

業務の名称	長久手古戦場野外活動施設管理運営事業							
(1)根拠法令・条例	長久手古戦場野外活動施設条例							
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>30</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数: <u>140</u> 人・日 (臨時雇用者延人数:人・日)							
(3)事業費 (人件費分を除く)	13,231 千円(5							
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	%(平成18年度実績)							
(5)業務期間	開始した年度	5 9 年度	終了(	予定)年度	Ŧ	年度		
		- 6)業務の概要 ( 簡潔に箇						
業務目的(達成目標)		<u>・</u> び文化財に関する資料を郷			の教養の向上を	:図り、屋外の弓道場で		
業務が対象とする住 民(地域 層)	弓道場の利用者以外は制限なし							
業務の具体的な実施 内容・方法 (平成18年度実績)	長久手古戦場野外活動施設運営委員会開催 特別展の開催 郷土資料室の開室							
	長久手古戦場 別外活動施設運営委員会開催 2回 特別展のテーマ「長久手誕生100年」 歴史資料の展示 11月29日~12月20日 19日間 開室日 火曜日~日曜日 年307日 入場者27,523人 和弓場利用者 3,427人							
	【業務結果の説明指標】							
業務の実施結果 (平成18年度実績)		果の説明指標	17年度	18年度	19年度	将来目標		
(十八八八十尺大河)	1 運営委員会		2	実績 2	<u>目標</u> 3	13777		
	2 年間利用者		20,107	27,523	28,000			
	3 特別展入場	者	4,376	760	800			
	4 和弓場の利 5	<u>用</u>	2,804	3,427	3,000			
業務の成果 (業務目的 の達成状況) (平成18年度実績)	長久手古戦場野外流	活動施設運営委員の監修に、 標:基本計画準拠】 果の説明指標	17年度	3くの方に入 18年度 実績	19年度	けた 将来目標		
	1		実績	夫領	目標			
	2							
	3							
	5		+ +					

## (7)遂行上の問題点、取組課題 (箇条書きで簡潔に記載)

施設内の展示スペースにおいて、常設している設備が老朽化している。また、特別展を開催するにあたって、展示室の使 い勝手・臨時収蔵庫に限りがある。

## (8)改善実績(過去3年間の実績)

展示設備の保守点検を継続している。長久手古戦場野外活動施設運営委員会において、今後の施設のありかたなど検討

(9)業務の評価(自己診断)				
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5~1点)		
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3 点		
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3 点		
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く 状況に対応して適切であったか。	o 点		
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3 点		
総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	3 点		
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	2 点		
		平均 2.8点		

	(10)総合評価(課の見解)
今後の方向	1.前年度と同じく、そのまま継続する。
(該当番号に〇印)	②. 見直して継続(業務の拡大)
	3 . 見直して継続(業務の縮小)
	4 . 見直して継続(方法の改善)
	5 . 見直して継続(他業務と統合)
	6 . 廃止する。
	7 . 休止する。
評価理由	町内に点在している文化財や「小牧・長久手の戦い」のあった場所として、施設整備・管理、来町者にPRなど必要である。

## (11)今後の目標・改善方針(具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)

町で保有している文化財などの備品を施設で収蔵管理するには、施設の大きさが限界に近づいている。現状調整しながら運営しつつ、施設のあり方について運営委員会で検討していく。